

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 黒沢トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	越中畑盛土場・本体部への土運搬距離は、特記仕様書 P. 14 14-1 工用道路の指定に記載の番号 2 町道越中畑田代沢線の全線 1,180m か、あるいは、越中畑盛土場本体部入口までの距離約 900m かどちらを考慮されていますか。	特記仕様書 P. 14 14-1 に記載する延長は、指定路線の総延長です。 土運搬作業に係る発生箇所から盛土場までの土運搬距離は、設計図（本線）1/117 位置図の表に示す走行速度・往復走行時間を勘案の上、貴社の施工計画に基づき、お考えください。
2	越中畑盛土場・本体部内の運搬は何 m を想定されていますか。	設計図より算出ください。
3	特記仕様書 P. 28 31-2 (1) 道路掘削土砂（表土）に「土質区分・土砂 E」と記載されていることから、土木工事積算基準 P. 7-33 15「表土削取り」は想定されていないのでしょうか。	表土の削取りは、単価表番号 3 道路掘削土砂（表土）になります。
4	土木工事積算基準 P. 7-5、4-1 土量換算率（2）に、「購入材料等により出来高検測（盛土検測）を行う場合、土量換算率を考慮した割増し」と記載がありますが、本工事における盛土工において、この盛土材料の割増しを考慮されているのでしょうか。	考慮しています。
5	特記仕様書 P. 20 21-1 再生資材の使用 (1) には盛土工 A 1、A 2 の記載がないことから、盛土工 A 1、A 2 の材料には再生材は使用しないと考えるよろしいでしょうか。	盛土工 A 1、A 2 の材料指定はしませんので、特記仕様書 31-3 (1) に記載のとおり、施工管理要領の規定を満足する材料を使用してください。
6	越中畑盛土場に施工する「敷砂基盤目潰し材 t=10cm」は、盛土工 A 3 に含まれると考えるよろしいでしょうか。含まれない場合は、その計上先の項目をご教示ください。	盛土工 A 3 に含むものとしてお考えください。

7	越中畑盛土場に施工する「敷砂基盤目潰し材 t=10cm」、「敷砂 t=50cm」の施工機械はブルドーザでよろしいでしょうか。または、平坦性の確保や遮水シートへの悪影響を考慮して別の機械による施工でしょうか。ご教示ください。	「廃棄物最終処分場遮水シート取扱マニュアル」を準拠し、貴社の施工計画に基づきお考えください。
8	盛土工B1、B2における土質毎（土砂B、第三紀のC地質、第三紀のD地質）の数量をご教示ください。	令和5年11月7日掲載「質問に対する回答⑩」質問番号1・2に対する回答のとおりです。
9	本工事のトンネル吹付コンクリートで使用する普通ポルトランドセメントは1,955tと算出されますが、採用単価は、公表単価の普通ポルトランドセメントバラ「超大口（1,000t以上3,000t未満）」でよろしいでしょうか。それとも「超大口（3,000t以上）」でしょうか。	入札公告2-20に記載のとおり、参考積算条件書を12月8日に掲載予定です。詳細は弊社HPをご確認ください。 (https://www.enexco.co.jp/assets/pdf/bids/capacity/initiative_r05.pdf)
10	鏡吹付コンクリートの取壊しは、トンネル掘削に先行して施工するのでしょうか。それとも、トンネル掘削と同時施工するのでしょうか。	鏡吹付コンクリートの取壊しは、関連する単価項目に含まれていませんので、別途監督員と協議するものとしてお考えください。
11	特記仕様書には、「鏡吹付コンクリートの取壊し、再資源化施設へ搬入、処理」等の記載がありませんが、別途協議対象と考えてよろしいでしょうか。	質問番号10に対する回答のとおりです。
12	特記仕様書 P.38 31-16 ずり処理工に記載の「仮置場での選別」で、トンネル掘削により生じたずりを選別するものは何でしょうか。	土壤汚染対策法第二溶出基準の基準値を超えない砒素を含むずりの選別です。
13	ずり処理工の冬期仮置場への運搬距離は、冬期以外の坑外仮置場への運搬距離よりも大きくなると思われますが、それぞれ別の運搬距離を考慮されていますか。	考慮しています。

1 4	<p>令和5年7月版の土木工事積算基準においてトンネル工のサイクルタイムが改定されていますが、汚濁水処理設備工、切羽監視員、割掛対象表参考内訳書に記載の給水設備費、工事電力費等の対象期間が令和4年7月版によって算出されているものと思われます。今後、これらサイクルタイムが関係する数量は、変更される予定でしょうか。</p>	<p>サイクルタイムに關係する数量について、変更する予定はありません。設計図（参考図）22/39 工事工程表（Ⅱ期線トンネル）を正としてお考えください。</p>
1 5	<p>設計図(1/7)本線 P. 95/117, 96/117 の「コルゲートパイプ」の数量表に記載の「裏込材」「被覆土」の材料は発生土を想定されていますか。それとも購入材を想定されていますか。</p>	<p>設計図（本線）95/117、96/117 コルゲートパイプ一般図の数量表には、構造物掘削の数量と残土の数量は、同数量である為、「裏込材」と「被覆土」どちらも購入材としてお考えください。</p>
1 6	<p>構造物掘削の「岩質区分・軟岩A」について、普通発破による掘削を想定されていますか。それとも近接施工を考慮して大型ブレーカによる掘削を想定されていますか。</p>	<p>普通ハツパ併用による掘削を想定しております。</p>
1 7	<p>閲覧資料に記載の吹付のり枠工Aの「法面清掃工及びラス張工」の面積には、枠内に行う「植生基材吹付け（t=5cm）」に含まれる「法面清掃工及びラス張工」の面積が重複しているかと思われます。「法面清掃工及びラス張工」の面積から「植生基材吹付け（t=5cm）」の面積を控除して計上されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>そのとおりお考えください。</p>
1 8	<p>金抜設計書 番号 69 項目番号 5-（7）の「地下排水工 Du-M-φ0.15・0.30・0.30」は、用排水構造物標準図集に記載がありません。また、設計図(5/7)越中畑盛土場 P. 15/36 には土工の記載がありません。掘削土量および埋戻し土量をご教示ください。</p>	<p>構造物等取壊しにて撤去した小段排水溝への設置になりますので、掘削土量等は発生しないものとして想定しております。</p>